

# 常不輕菩薩の生き方に切り替えよう

【7月8月度の御金言】汝早く信仰の寸心を改めて、速やかに実乗の一善に帰せよ然れば則ち三界は皆仏国なり、仏国其れ衰へんや、十方は悉く宝土なり、宝土何ぞ壊れんや。

【立正安国論】(全集 32 頁)

## 法華講信条

- 1, 謗法厳戒の信仰を貫こう。(信心)
- 1, 行学絶へなば仏法はあるべからず。(行学)
- 1, ただ一言でも妙法を伝える勇氣を持とう。(破邪顕正)
- 1, どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
- 1, 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)
- 1, 成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
- 1, 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。

☆ 謗法厳戒の信仰を貫こう。(信心)

ある御信者さんが、ある時、ふっと、「私は、亡くなった両親の家は念仏宗なので、法事の際は、親戚付き合いもあるので、念仏宗で南無阿弥陀仏で法事をしています。御寺の瓦修復の寄付の手紙が来た時には、請求通り御金を出しました。私が結婚した主人は日蓮正宗ですから、南無妙法蓮華経で主人の両親や先祖の追善供養をしています。」と、悪気も無く話された。確かに板挟みになって、その場しのぎで波風を立てたくないと考えて、そうして立ち回って来たのかもしれないが、私は、それでは亡くなった両親も先祖も成仏出来ないですよと、話をしました。

南無妙法蓮華経の法は、南無妙法蓮華経以外の南無阿弥陀仏や南無大師遍照金剛や南無釈迦牟尼や南無観世音菩薩や南無地藏菩薩等々では成仏する事は出来ない。一切衆生平等成仏の法は南無妙法蓮華経の法以外には無い。【四十餘年未顕真実(無量義経)】【正直捨方便(方便品第二)】【不受餘経一偈(譬喻品第三)】として説かれている、謗法厳戒の教えであります。本当に大切な故人、先祖の成仏を願う事が出来る法は、南無妙法蓮華経しかないのであります。成仏出来ない毒の法と、成仏出来る薬の法を混ぜれば、全部矛盾した毒の法になってしまうのであります。どちらにも良い顔をする両立は出来ないのであります。

一切衆生平等成仏の正しい法を信心修行するには、人間関係に波風が立ちます。貫く勇氣がいます。形ばかりの世間体で、法事の時だけ手を合わせて、信じている振りをしておけば良いではなく、日蓮大聖人の法は、どういう法なのか学んで、何をするのか、何をしてはいけないのか、何故、即身成仏(十界互具の生命あるがままで仏に成る)出来る唯一無二の法なのかという事をわきまえておかなければいけないのであります。日蓮大聖人の法を信仰するには努力が必要なのであります。亡くなった大切な人が、どれだけ熱心に南無阿弥陀仏を信仰していたとしても、その人の成仏を願うならば、世間体ではなく、日蓮大聖人の法、唯一無二の法、一切衆生平等成仏の南無妙法蓮華経の法で追善供養しなければ成仏出来ないなのであります。そして、法事をすれば供養になるのではなく、毎日の信心修行の上に、法事、御盆、御彼岸、命日供養が成り立つのであります。